

大和市の交通施策について

平成30年9月
大和市街づくり総務課

目次

1. 大和市の紹介
2. 大和市コミュニティバス運行事業
(のろっと・やまとんGO)
3. 地域乗合交通創出支援事業
(西鶴間・上草柳地域「のりあい」)
4. 高齢者おでかけ支援事業

1. 大和市の紹介

大和市とは

- 大和市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、横浜、相模原、藤沢、海老名、座間、綾瀬、東京都町田の各市に隣接する、人口約23万人の自治体。
- 市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどない。



- 面積は約27平方キロメートルと小さな市だが、都心から40km圏内3つの鉄道が東西南北に走り、東京へ1時間弱、横浜へは20分で行くことができる。
- 市内には8つの駅があり、市域のほとんどが駅まで15分以内の徒歩圏内にある。
- また、道路網も国道16号線、246号線及び467号線のほか県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジにも近いなど、交通の利便性に恵まれている。

2. 大和市コミュニティバス運行事業 (のろっと・やまとんGO)

(1) 事業概要

▶目的

現況の公共交通網を補完することにより、身近な移動手段を持たない市民の移動手段の確保と、市内における地域間移動の円滑化を図る。

▶効果

- ・公共交通（鉄道、民間バス）の利用が不便な地域の利便性向上。
- ・お年寄りや子育て世代など、移動に制約がある人の日中の移動手段の確保。
- ・外出しやすい環境を整えることにより、歩く機会を増やし、健康増進を図る。

（市の総合計画の目標である「健康創造都市 やまと」の実現）

▶手法

バス事業者への委託により、コミュニティバス「**のろっと**」を南北2ルート、「**やまとんGO**」を市内4地域において運行。

(2) 「のろっと」について

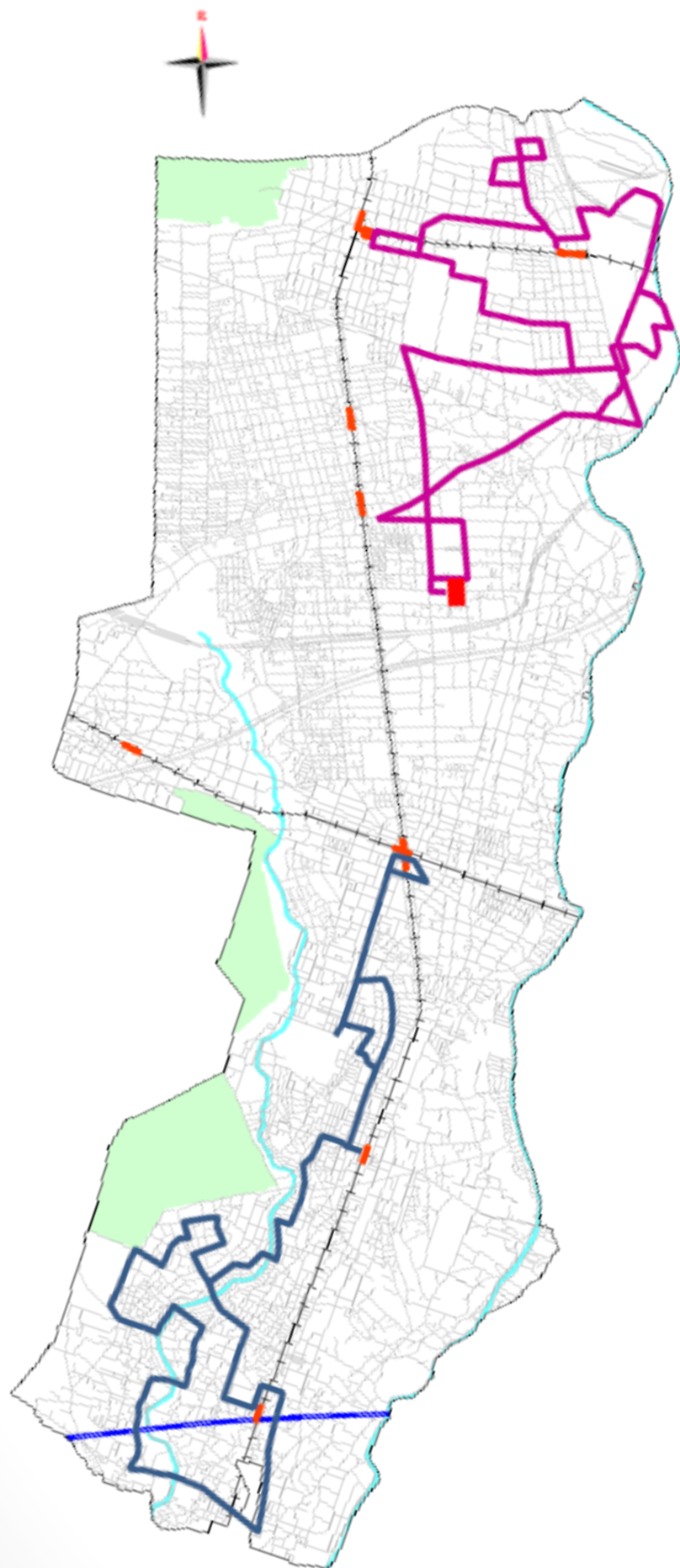
▶導入の経緯等

- 大和市コミュニティバス「のろっと」は、民間バス路線の廃止などに対応するため、平成16年4月から本格運行を開始した大和市内の循環バス。
- 利用者数の推移をみると、近年では北部ルートは年間11万人程度、南部ルートは年間22万人程度を推移している。

- 車両：小型バスタイプ（35人乗り）
- 運賃：小学生以上100円
- 運行間隔：60～100分に1本
- 平成14年から市内の北部、南部の2ルートで運行
- 比較的大きな通りを運行



▶ 「のろっと」 運行ルート



- **北部ルート**

中央林間駅～市役所

平日 8 便、土休日 7 便 約11km

市役所～中央林間駅

平日 7 便、土休日 6 便 約7km

- **南部ルート**

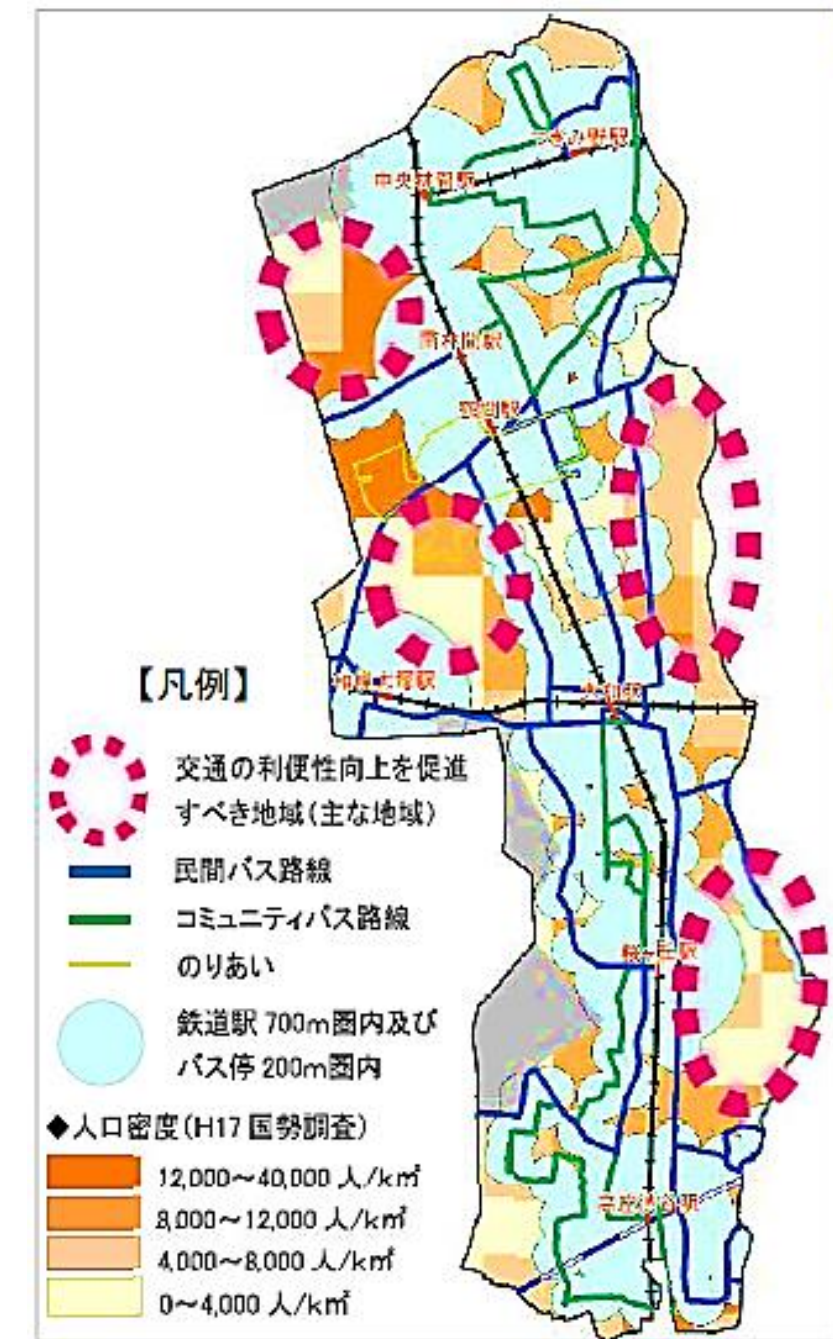
大和駅～桜ヶ丘駅～高座渋谷駅 (循環型)

平日・土休日12便 約21km

(3) 「やまとんGO」について

▶導入の経緯等

- 「のろっと」運行開始以降も、市内の一部の地域には、公共交通が利用しにくい・利便性があまり良くない地域や、勾配がきつい坂道のある地域が存在しており、そのような地域を「交通の利便性向上を促進すべき地域 (※)」として設定した。
- また、超高齢社会の中にあっても高齢者が安心して移動できる交通環境の構築や市民が移動しやすいと感じることができるまちの実現が求められている。



■交通の利便性向上を促進すべき地域

→これらの課題を解消するためには、市全体交通利便性を高めることが必要であり、「交通の利便性向上を促進すべき地域」への公共交通の導入等を図るため、「やまとんGO」を運行することとなった。

(※最寄鉄道駅から700m以上かつ最寄バス停から200m以上離れている地域)

▶ 「やまとんGO」のルート選定について

- 「交通の利便性向上を促進すべき地域」の中でも、人口密度が高く、且つ、路線バス等が運行していない地域であること。
- また、鉄道駅や主要公共施設等を結び、外出機会の創出につながることが期待される地域を選定した。

暮らし : 日常生活に必要な公共施設

(市役所、図書館、学習センターなど)

集い : 生きがいの創出、地域コミュニティの活性化

待ち時間の楽しみ創出

子供から高齢者が集まる場所

(コミュニティセンター、公園など)

健康 : 病気や怪我の治療

健康の維持管理に便利 (病院など)

おでかけ : 通勤、旅行に便利

(鉄道駅、東名大和バス停など)

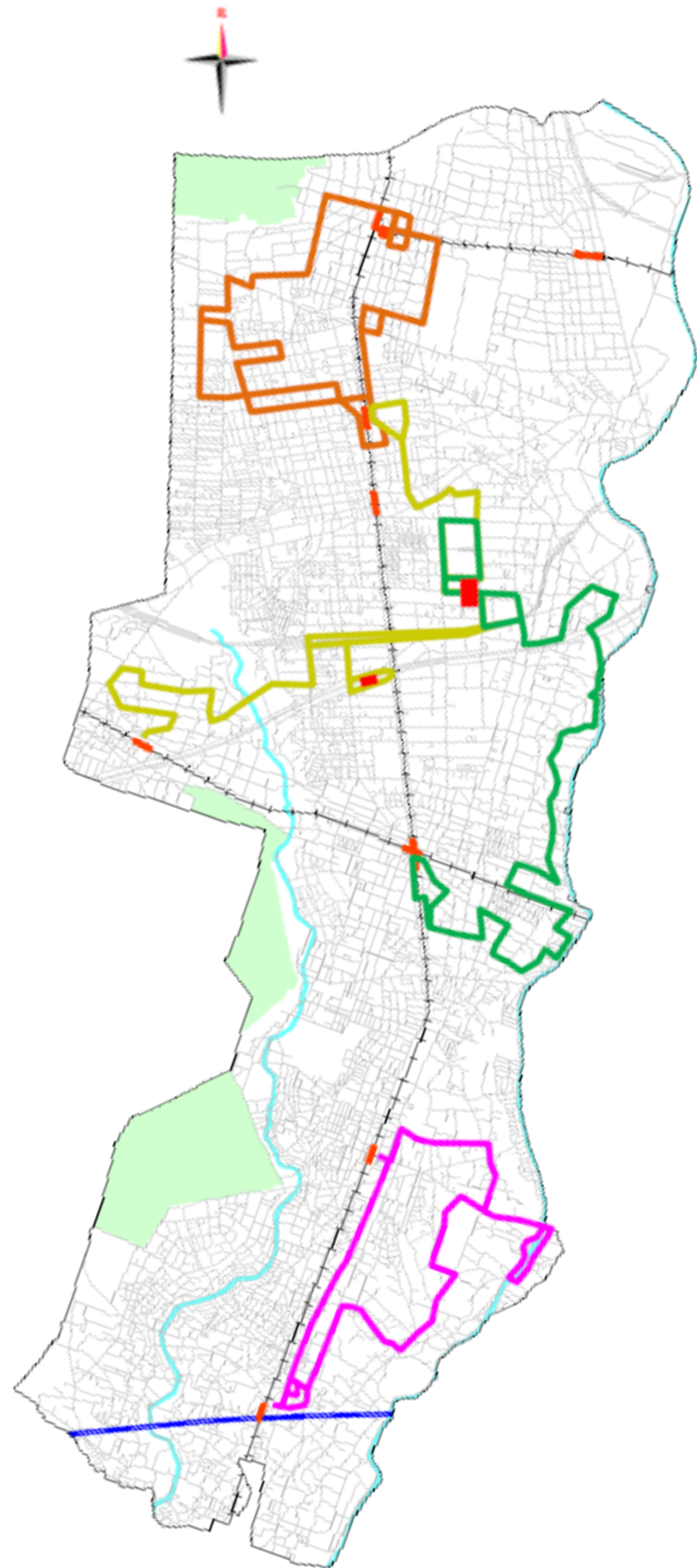
楽しみ : 自然とふれあい、人と人との交流などの機会創出

(イベント会場、泉の森など)

買い物 : 日常生活に必要な買い物に便利 (駅、商業施設など)



▶ 「やまとんGO」の運行ルート



- 車両：ワゴンタイプ（14人乗り）
- 運賃：小学生以上150円
- 運行間隔：30分に1本
- 平成26年から市内4地域（**中央林間西側**・**相模大塚**・**深見**・**桜ヶ丘**）で運行
- 「のろっと」が乗り入れることができない住宅地等、比較的狭い通りを運行

▶ 「やまとんGO」の車両の選定

- やまとんGOの車両は2種類（ハイエース、キャラバン）
- コミュニティバス「のろっと」のルートと比較して、より狭い住宅地を選定→車両にワゴン車を導入。
- 運行間隔→利便性向上のため30分間隔。



(4) これまでの経過 (まとめ)

平成12年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道路運送法改正により、需給調整規制が廃止（規制緩和）され、市内の採算性の低いバス路線の廃止などに早期に対応する必要が出てきた ⇒廃止路線：神奈中「つきみ野駅～鶴間駅」等、7系統が退出
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 上半期：コミバス検討準備会を設け、基本コンセプト検討。 ➤ 下半期：コミバス検討会議を設置、コンセプトやルートを検討・決定 ⇒関係機関、沿線住民等に説明
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 上半期：運行事業者の決定、運行許可取得、周知活動 ➤ 下半期：実験運行開始
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（北部・南部）本格運行開始
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（南部）第11便実験運行 ⇒ 平成20年12月より本格運行
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（北部）南林間駅東口へ乗り入れ、土休日ダイヤ、交通渋滞を避けるルート設定 ➤ 「のろっと」（南部）ゆとりの森、代官、福田（南庭）地区へのアクセス改善、高座渋谷駅付近のルートを2周回から1周回に変更
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（北部）中央林間駅バス停の移設 ➤ 「のろっと」（南部）ゆとりの森公園内ロータリーへの乗り入れ
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「やまとんGO」2地域実験運行開始（中央林間西側、相模大塚） ➤ 「やまとんGO」2地域実験運行開始（深見、桜ヶ丘）
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（南部）代官地区への延伸を実施、車両更新ラッピング施工 ➤ 「やまとんGO」先発本格運行開始（中央林間西側、相模大塚） ➤ 「やまとんGO」後発地域運行開始（深見、桜ヶ丘）
平成27年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」（北部）運行経路変更、バス停新設、運行時間拡大 ➤ 「のろっと」（南部）時刻表変更
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「のろっと」バスロケーションシステム導入 ➤ コミバス及び民間路線バスの運行ルート等を掲載した「大和市バスマップ」を発行

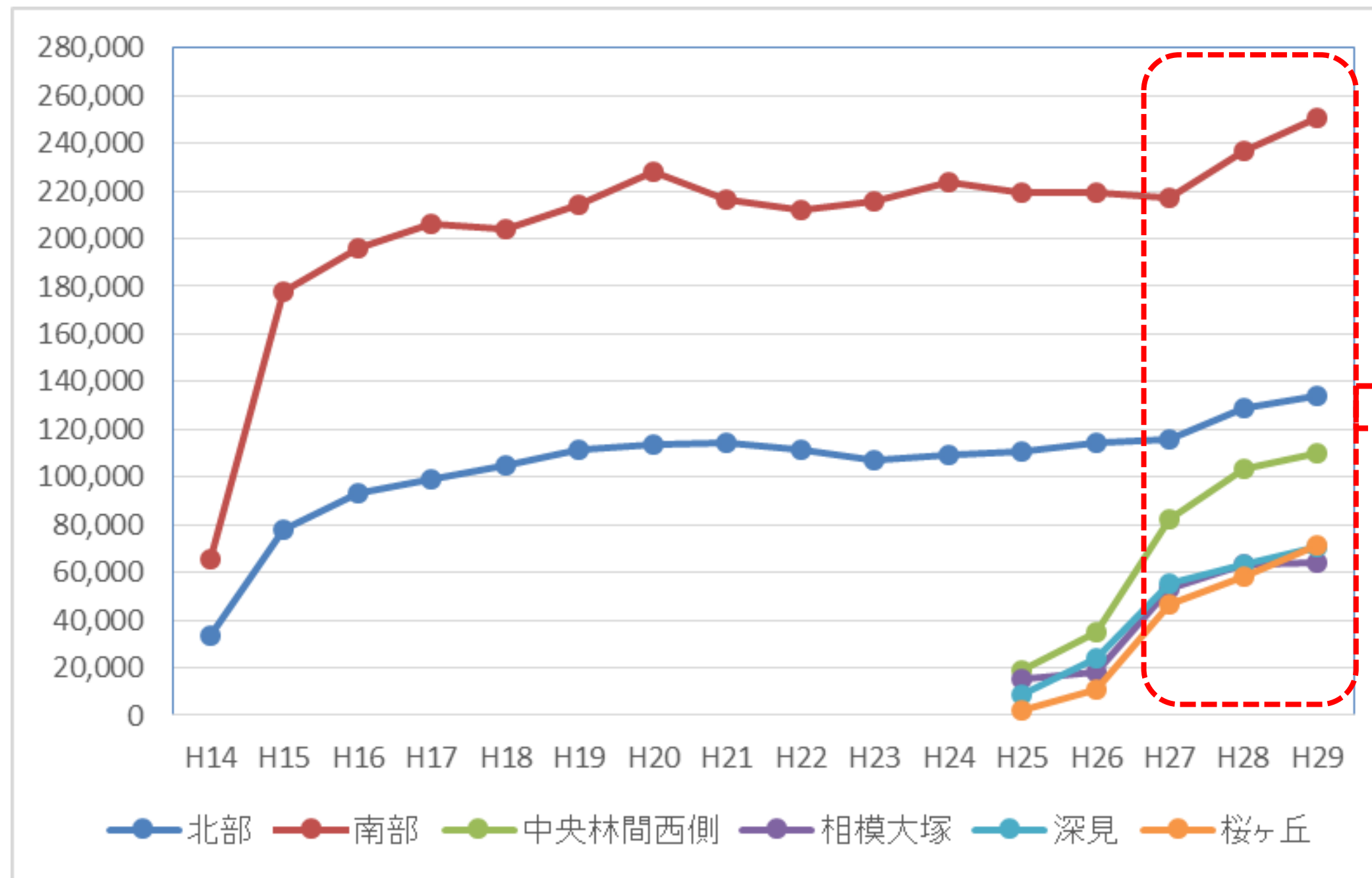
(参考) バスロケーションシステムについて

The screenshot shows the Kanachu website interface. At the top, the logo 'Kanachu 神奈中バスロケーション' is displayed with the tagline '響きあう、明日へ'. Navigation links include '神奈川中央交通' and '神奈中バス 時刻表・運賃案内'. The main navigation bar contains 'トップ', '接近情報', 'バス鉄道乗継案内', and '使い方ガイド'. A central banner reads '神奈中バスロケーションはこんなときに便利なサービスです。' and features two call-to-action buttons: '乗りたいバスは、いつバス停に来るの? > 接近情報を調べる' and 'バスと鉄道を使って8時までに目的地に着きたい! どうやっていくのがいいの? > バスと鉄道の乗継を調べる'. To the right, there are sections for '地図から検索' (Search from map), '時刻表・運賃案内' (Timetable and fare information), and 'ご注意' (Notice). The '接近情報を調べる' section includes search boxes for '乗車バス停' and '降車バス停' with a '50音' filter. The 'ご注意' section lists specific routes where the system is not used: 寒川町コミュニティバス, 平塚市シャトルバス, 愛川町コミュニティバス, and 座間市コミュニティバス.

- 「のろっと」は「やまとんGO」に比べて運行距離が長く、遅れが発生することもあり、以前から運行状況を把握できるサービスを望む声があった。
⇒平成29年3月より、「のろっと」で神奈川中央交通(株)バスロケーションシステムを導入。
- バスにGPS装置を搭載しバスの位置情報を把握することで、リアルタイムな運行情報を提供。PCやスマートフォン等からバスの接近情報や目的地の到着予測時刻、時刻表等の検索が可能。
- 乗りたいバスの接近情報がわかるため、利用者がより安心してバスを待つことができるほか、バスの車内からでも目的地の到着予測時刻を把握できるなど、バスの利便性向上につながった。

(5) 利用者数の推移

▼H14～H29までの利用者数



※平成27年度以降の利用者数増加の主な要因について

・のろっと

平成27年度にバス停新設、朝夕各1時間ずつの運行時間拡大を実施。また、平成29年度に神奈中バスロケーションシステムを導入するなど、利便性が向上した。

・やまとんGO

平成25年度からの実験運行を経て、平成27年度から4路線の本格運行を開始し、徐々に認知度が上がった。

▶H29年度の利用者数

路線	利用者数（人）	前年比（%）
のろっと北部ルート	134,087	104%
のろっと南部ルート	250,529	106%
合計	384,616	105%
やまとんGO中央林間西側	110,212	106%
やまとんGO相模大塚	63,794	100%
やまとんGO深見	70,794	112%
やまとんGO桜ヶ丘	71,665	122%
合計	316,465	109%
合計	701,081	107%

(6) 利用者からの声

- コミュニティバスが運行するようになり、外出機会が増えた。
⇔ほかの交通手段があるので利用していない。
- 運賃（100円、150円）は手頃である。
⇔運賃が高い、無料パス・割引券の発行要望
- 自宅の近くにバス停ができたので便利になった。
- バスに乗ることで、坂道等を歩かずに済むようになった。
⇔バス停まで行くことができない、ルートやバス停新設の要望
- 鉄道駅、スーパー、病院等、行きたい場所まで行くことができる。
⇔目的地まで遠回りである、目的地まで直通で行きたい
- 運行本数が適度にあって便利。
⇔運行本数が少ない、運行時間帯が短い

(7) 今後の課題

◆ 継続的な運行改善

- ・利用者から日々寄せられる意見や要望への対応。
- ・利用者分析、アンケート調査等の実施による現状及び要望等の把握。

◆ 利用促進

- ・継続した運行を実施するために、より一層利用者を増やす。工夫を行い、コミュニティバスを運行している意義や効果を周知する。

◆ 経費削減

- ・行政経費の節減や効率化については、常に検討していく必要がある。

3. 地域乗合交通創出支援事業 (西鶴間・上草柳地域「のりあい」)

(1) 事業概要

▶ 概要

地域住民が主体となって運営する、住民のための移動手段創出の取り組みに対し、住民組織と市との協働事業の形で支援する。

▶ 事業内容

9自治会（約2,400世帯）の地域住民が中心となって組織する「地域と市との協働のりあい」が、10人乗りのワゴン車（運転者、添乗者、利用者8人乗り）を使い、地域と鉄道駅や商業施設などを結ぶ移動手段の提供をはじめ、コミュニティ活性化に資する地域活動を行っている。

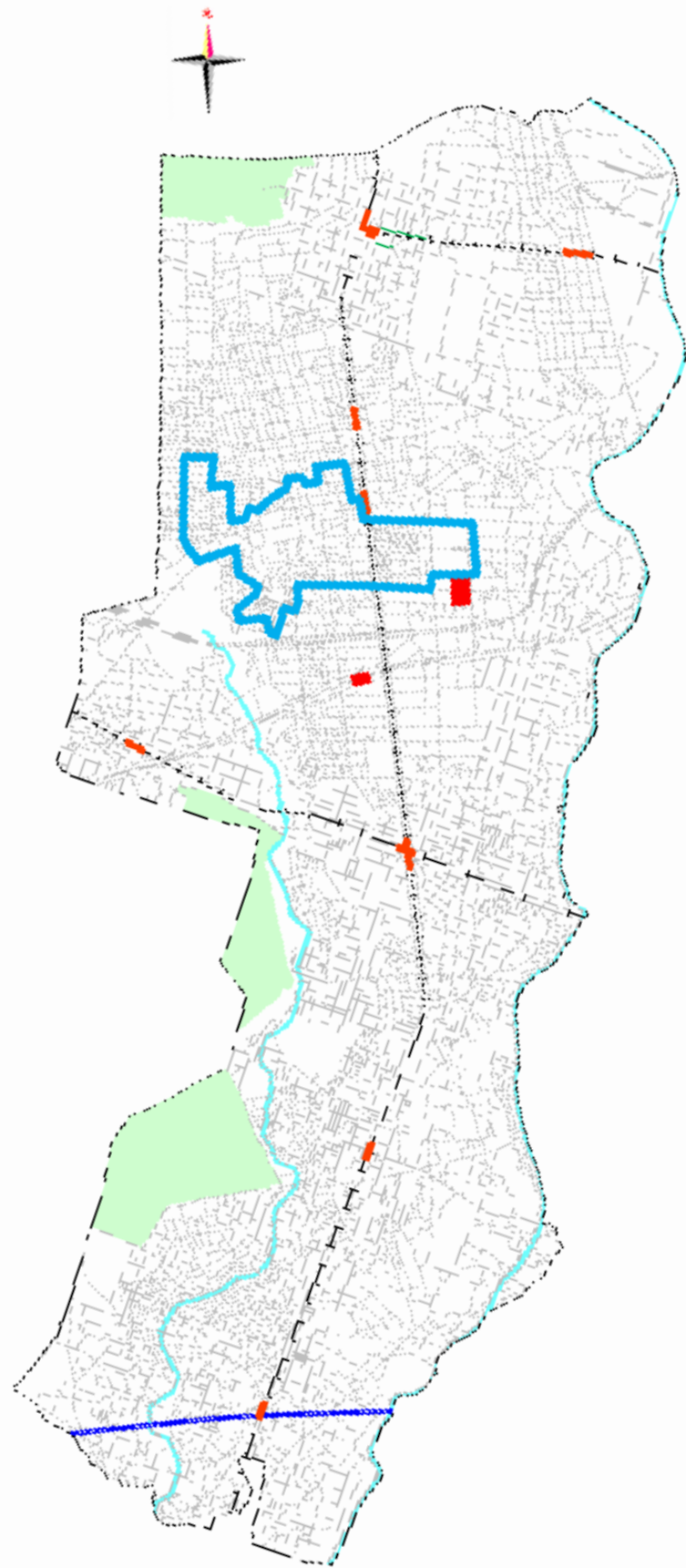
▶ 組織の運営に係る経費

9自治会に属する各世帯からの協力金と、個人による賛同支援金、企業からの協賛金、バザーなどの収益で賄っている。

▶ 許認可

道路運送法上の登録や許可を要さない、ボランティアによる無償運送。運転や添乗等は地域のボランティアが担っている。

(2) 運行ルート等



▶ 運行内容

- 平日のみ運行
- 1周約9キロの周回コース
- 1日18周
(午前12周、午後6周)
- 乗降場所は23か所



(3) 事業開始までの経緯

※当初は、神奈川県とNPO（かながわ福祉移動サービスネットワーク）の協働事業により、地域でワークショップを3回実施。
（～平成20年7月）

- ・平成20年 10月 「乗合バス運行準備会」発足
- ・～平成21年4月 住民アンケート、ルート試走、ミニ集会実施
- ・平成21年 5月 地域説明会実施
- ・平成21年 6月 第1回実験（5日間）（9周／日）
- ・平成21年 8月 大和市との協働事業に採択される
（平成22年度から3年間）
- ・平成21年10月 第2回実験（5日間）（9周／日）
- ・平成22年 2月 第3回実験（1ヶ月間）（10周／日）

- 平成22年 3月 地域報告会（準備会から委員会への移行・実験開始を報告し参加者の賛同を得る）
- 平成22年 4月 実験事業開始（10周／日）
- 平成23年 4月 本格事業へ移行（10周／日）
- 平成23年 6月 乗り切れない利用者への対応のため自家用車による待機車制度実施（～翌年3月）
- 平成24年 4月 参加自治会増（7→9）、車両増（1→2）、回数増（10→15、夏季16）
- 平成24年 8月 大和市との協働事業として再び採択（平成25年度から3年間）
- 平成27年 7月 時刻表の改正（1日18便に増）
- 平成27年 8月 大和市との協働事業として再び採択（平成28年度から3年間）

(4) 現在の「のりあい」

平成22年度から協働事業として運行（3期9年目）

▶市の役割

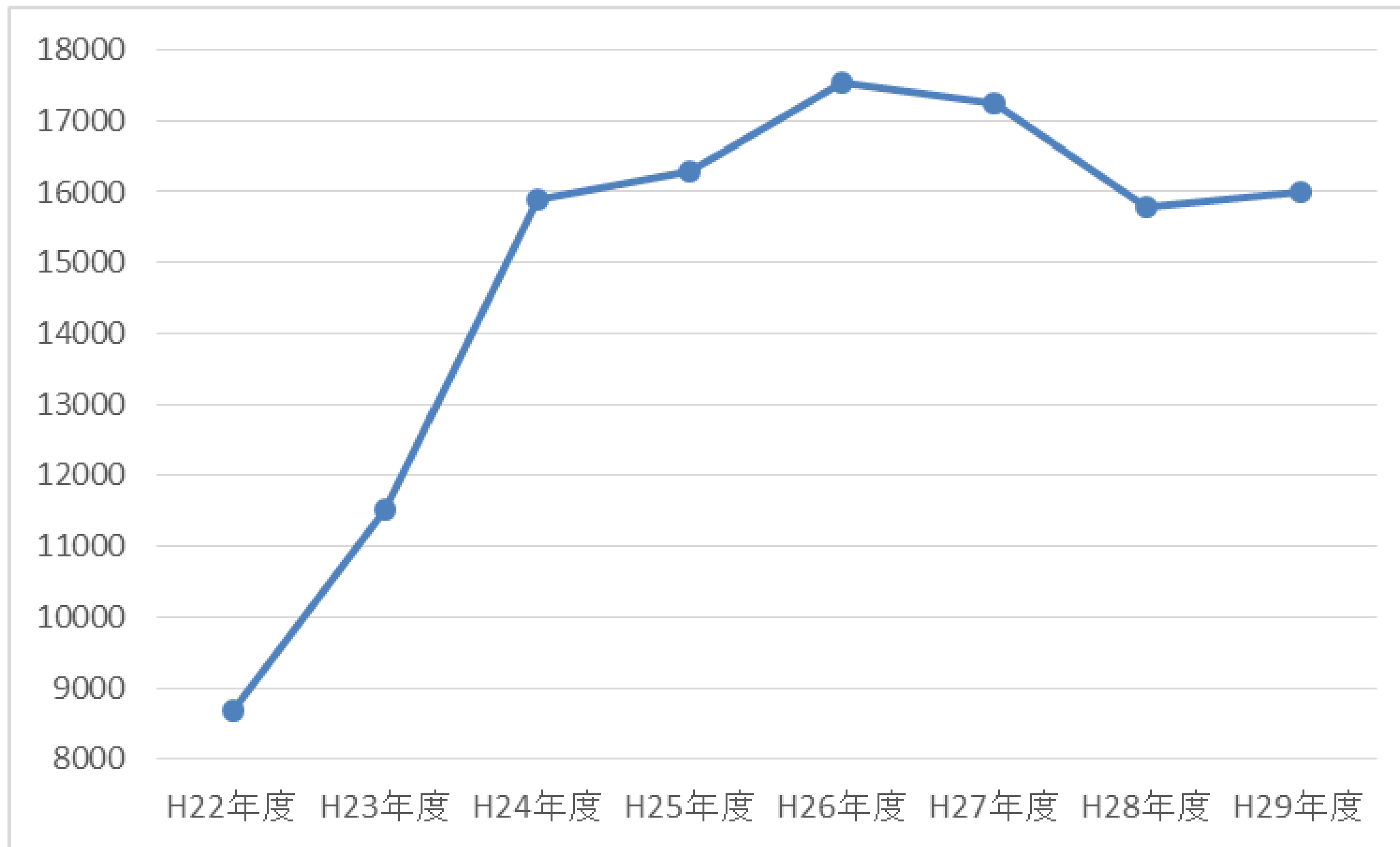
- ①使用する車両の確保に関する事
- ②使用する車両の燃料に関する事
- ③広報やまことや市の設備を使用した広報事務
- ④関係機関との連絡調整

▶「のりあい」事務局の役割

- ①移動手段の創出に向けた地域での合意形成
- ②資金計画の立案と財源の確保
- ③移動手段の創出に向けた取り組みの運営管理

(5) 利用者数の推移

▼H22～H29までの利用者数（人）



(6) 住民側の反応

- 添乗員が同乗しているため、杖やカートを使用している人も気軽に乗車できる。(一般的なバスは、家族の付き添いなしでは利用できない人もいる。)
- 地域コミュニティづくりに貢献している。
- 運営スタッフの社会性も向上しており、地域全体の見守りにもつながっている。
- 市が運行しているコミュニティバスと比べ、高齢者以外が利用しにくいように感じる。

(7) コミュニティバス運行事業との関係

「のりあい」が取り組みを開始した当時、市ではコミュニティバス「のろっと」を市域の南北で運行していた。

⇒車両が大きく、道路幅員の狭い住宅地では運行することができなかった。

⇒西鶴間・上草柳地域の方々が移動手段の確保に向けて自ら立ち上がり、市内で初となる地域主体の「のりあい」の運行を開始。



取り組みの成果が「やまとんGO」の運行につながった。

(8) 課題と今後の展開

①資金の問題

- ・自治会に属する各世帯からの協力金、企業からの協賛金などで運営資金を賄っているが、資金の確保については毎年課題となっている。

②安全運行への懸念

- ・運転手の高齢化。

③スタッフの高齢化と人員確保の問題

- ・運営や運行にかかわる人たちの高齢化。
- ・新しい人員が集まらない。

上記のような課題を解決しつつ、「のりあい」の特徴やこれまでの実績を活かした新しい運行方法について、地域と市とで協議を重ねた。



**平成30年度下期から、市が業務委託した
バス事業者による運行が開始される予定**

4. 高齢者おでかけ支援事業

(1) 事業概要

▶概要

- ・病院の送迎車を利用した取り組み。
- ・市と医療法人が協定を結び、医療法人が所有する送迎バスの空席を、市に利用登録を行った高齢者が利用できるようにした。

▶効果

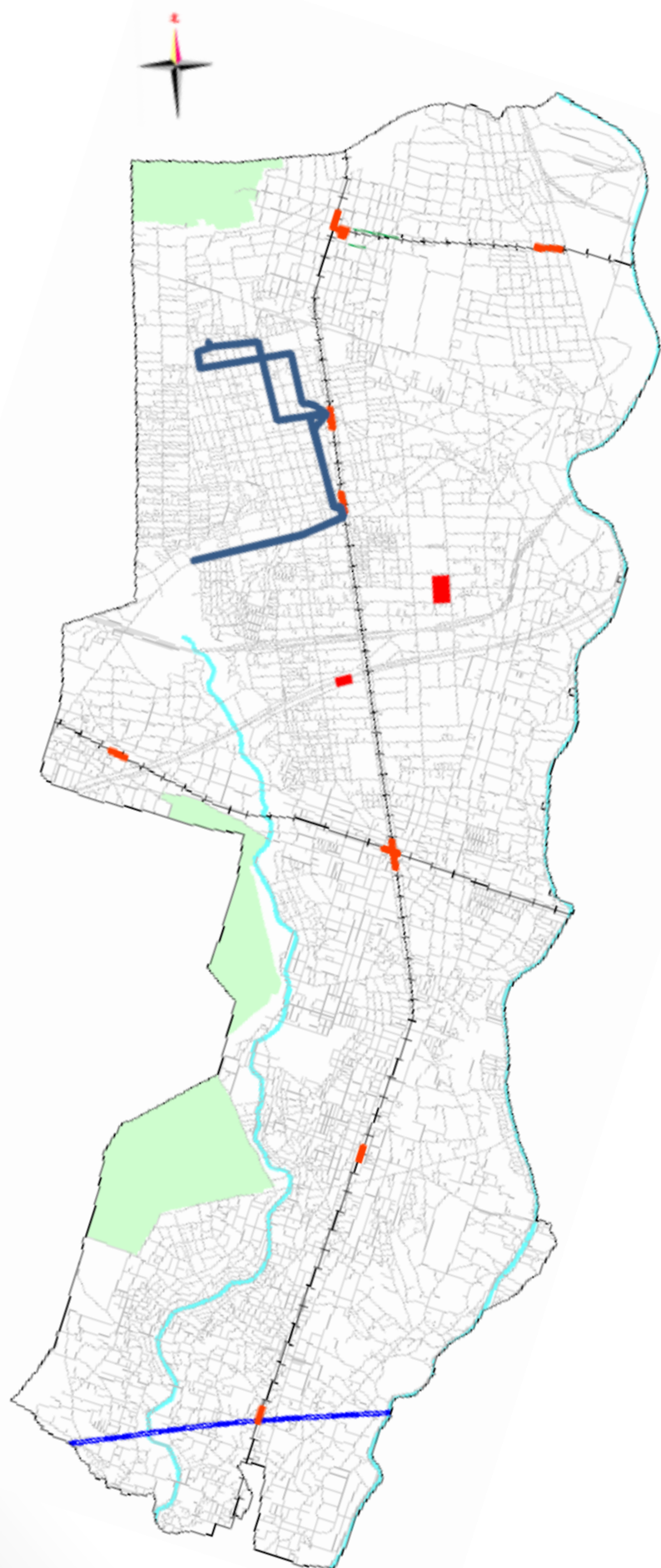
- ・南林間、西鶴間地域の高齢の方の交通利便性の向上を図る。

▶利用対象者

- ・市内に居住する65歳以上の方。
- ・送迎バスに一人で乗車可能（ドアの開閉も含む）であること。
- ・市で事前登録を行い、利用カードを交付されていること。

高齢者おでかけ支援事業			
バス利用カード			
No. _____	発行日	年	月 日
氏名 _____			
生年月日	明・大・昭・西暦	年	月 日
住所 大和市 _____			
連絡先 大和市役所 街づくり総務課 046-260-5444			

(2) 運行ルート等



▶ 運行ルート

南林間9丁目（病院）～南林間駅西口
～鶴間駅西口～西鶴間5丁目（クリ
ニック）

▶ 運行時間帯

概ね7時から19時（日曜・祝日、及び
病院・クリニックが休診等の場合は
運休）

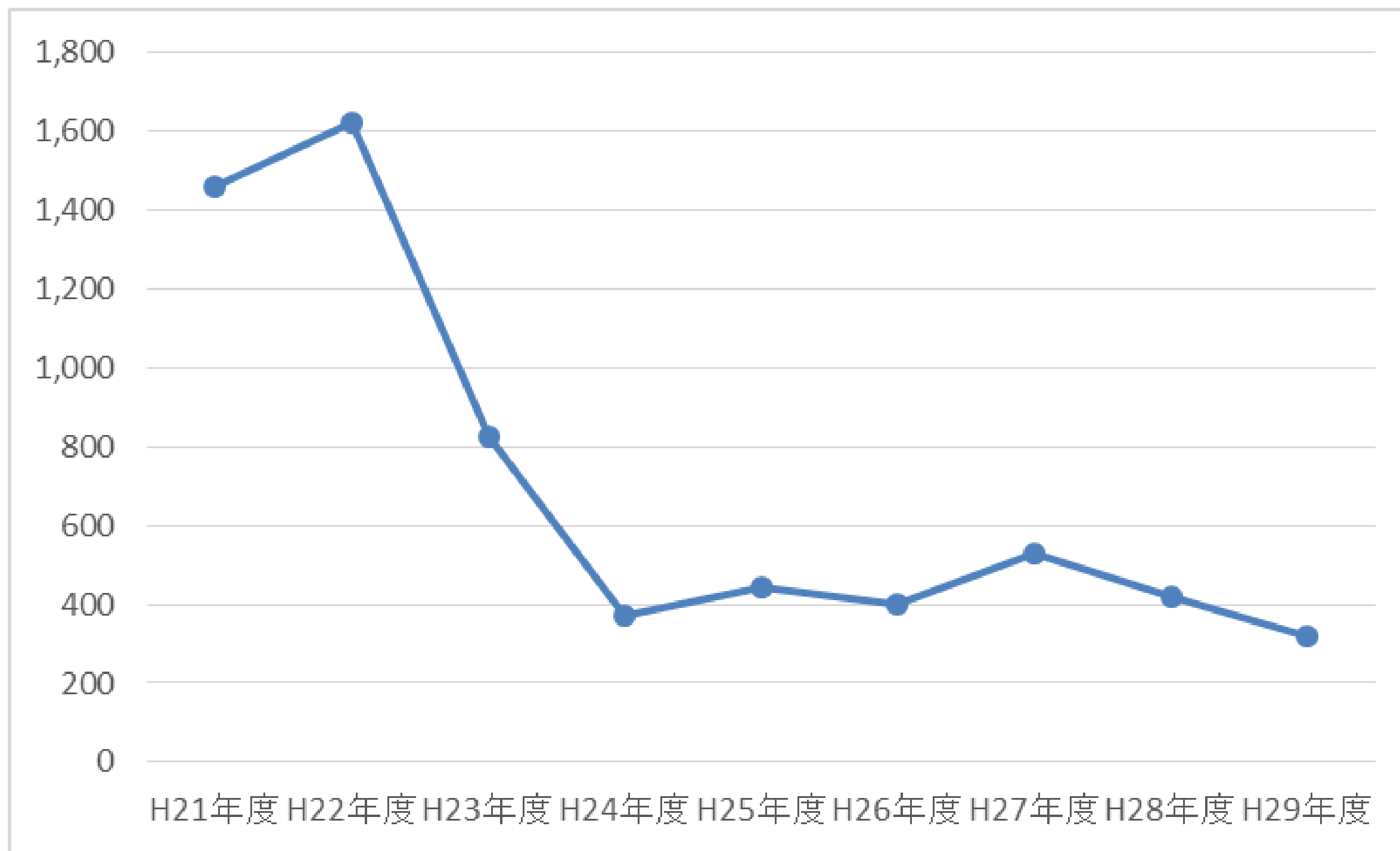


(3) 事業開始までの経緯

- ・平成20年10月～ 他市事例・送迎バス運行状況等の情報収集
- ・平成20年11月～ 事業者との交渉、庁内及び関係機関との調整
- ・平成21年 6月 実験運行に関する協定書締結
- ・平成21年 7月 住民説明会・利用者登録開始
- ・平成21年 8月 実験運行開始
- ・平成22年 2月 本格運行に関する協定書締結
- ・平成22年 3月 実験運行終了
- ・平成22年 4月 本格運行開始

(4) 利用者数の推移

▼H21～H29までの利用者数（人）



(5) 今後の課題

他の地域における本事業の実施の可能性について検討していく。